

地域別総合防災研修 アンケート集計結果

① 終了者数等のまとめ	1
② 事前アンケート	3
③ 受講者単元別アンケート	9
④ 受講者最終日アンケート	13
⑤ 確認テスト	17
⑥ 講師アンケート	19

① 修了者数等のまとめ

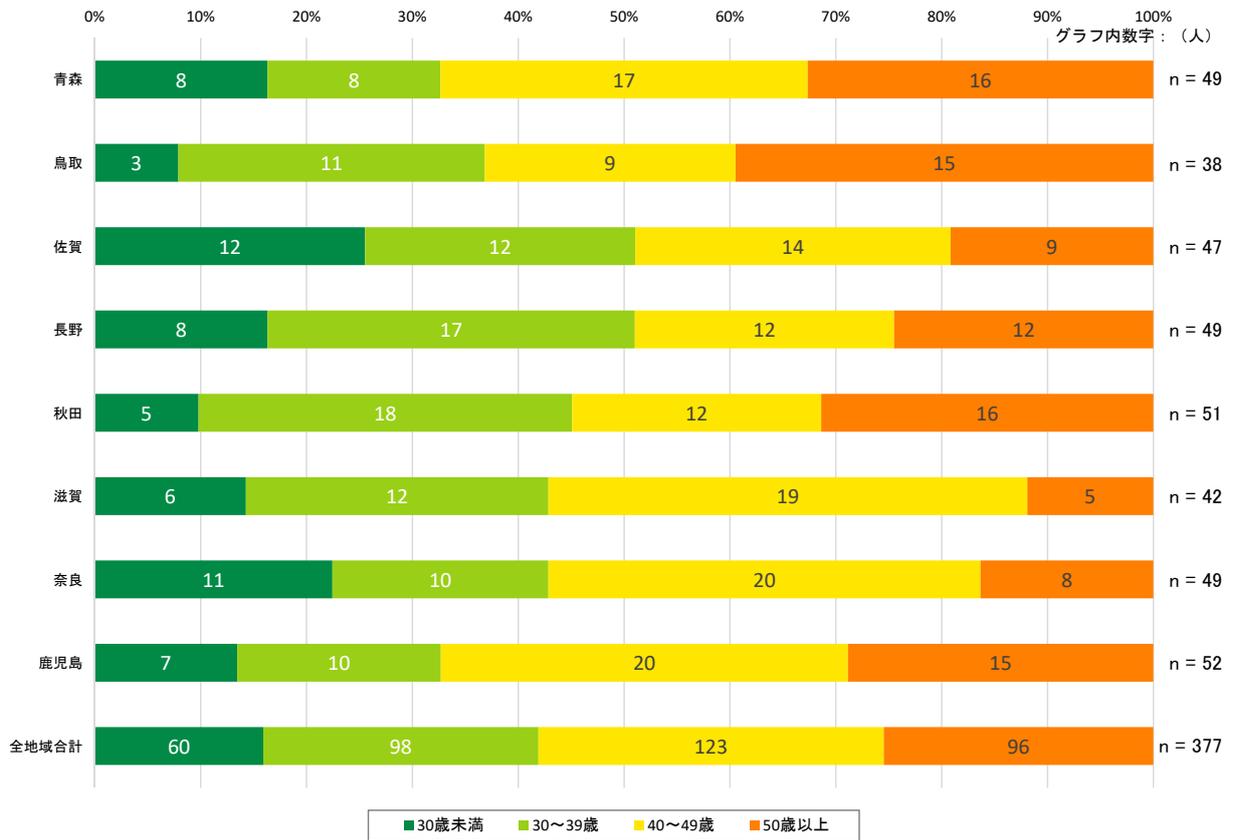
修了者数等のまとめ

都道府県	定員	応募者 ①	受講者										修了者										参考	
			(うち 女性)	国 (うち女性)		都道府県 (うち女性)		市区町村 (うち女性)		その他 (うち女性)		②	(うち 女性)	国 (うち女性)		都道府県 (うち女性)		市区町村 (うち女性)		その他 (うち女性)		会場	②-①	
全会場合計	400	520	441	20	86	5	108	5	243	9	4	1	394	17	80	3	100	5	210	8	4	1	-	▲126
東北①(青森県) 7月23日(月)・24日(火)	50	65	56	1	11	0	18	0	27	1	0	0	52	0	11	0	17	0	24	0	0	0	県庁	▲13
東北⑤(秋田県) 11月15日(木)・16日(金)	50	59	56	1	4	0	12	1	40	0	0	0	54	1	4	0	11	1	39	0	0	0	県庁	▲5
中部④(長野県) 11月8日(木)・9日(金)	50	63	58	2	11	1	14	0	31	0	2	1	53	2	11	1	12	0	28	0	2	1	外部 施設	▲10
近畿⑥(滋賀県) 1月10日(木)・11日(金)	50	64	57	2	9	0	12	0	36	2	0	0	54	2	9	0	12	0	33	2	0	0	県庁	▲10
近畿⑦(奈良県) 1月17日(木)・18日(金)	50	63	53	6	10	2	10	0	31	4	2	0	45	6	9	2	9	0	25	4	2	0	外部 施設	▲18
中国②(鳥取県) 8月9日(木)・10日(金)	50	63	42	1	3	0	16	1	23	0	0	0	37	1	3	0	15	1	19	0	0	0	外部 施設	▲26
九州③(佐賀県) 9月6日(木)・7日(金)	50	65	52	5	21	2	12	1	19	2	0	0	49	3	19	0	12	1	18	2	0	0	県庁	▲16
九州⑧(鹿児島県) 1月21日(月)・22日(火)	50	78	67	2	17	0	14	2	36	0	0	0	50	2	14	0	12	2	24	0	0	0	県庁	▲28
平成29年度 全会場合計	450	444	372	25	46	0	91	11	230	14	5	0	344	21	46	0	72	8	221	13	5	0	-	▲100

※応募者数とは、事前キャンセルも含む研修初日の受付までの人数(研修2日間欠席者を含む)
 ※受講者数とは、1日のみの受講者も含む人数(研修2日間欠席者は除く)
 ※内閣府OJT研修生は派遣元の所属

② 事前アンケート

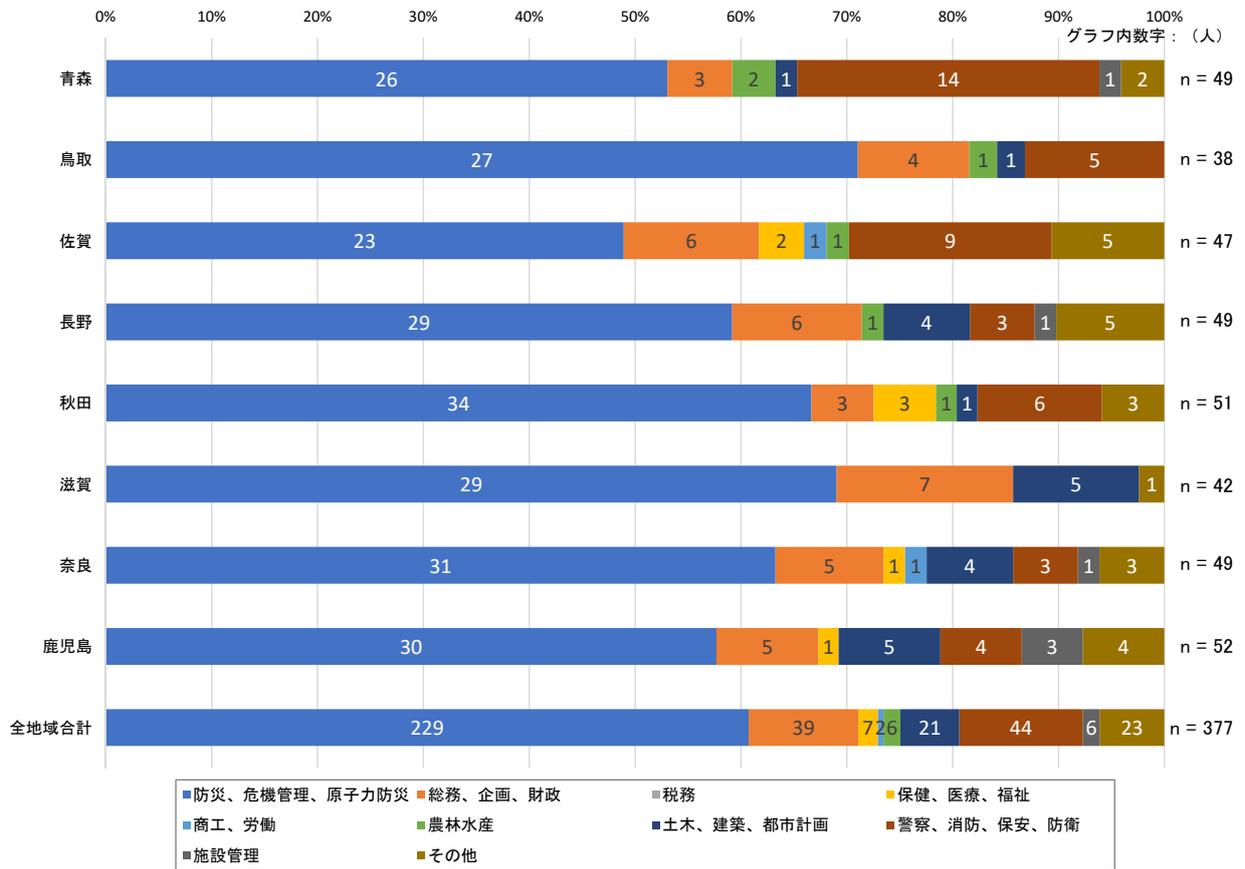
②-1 年齢



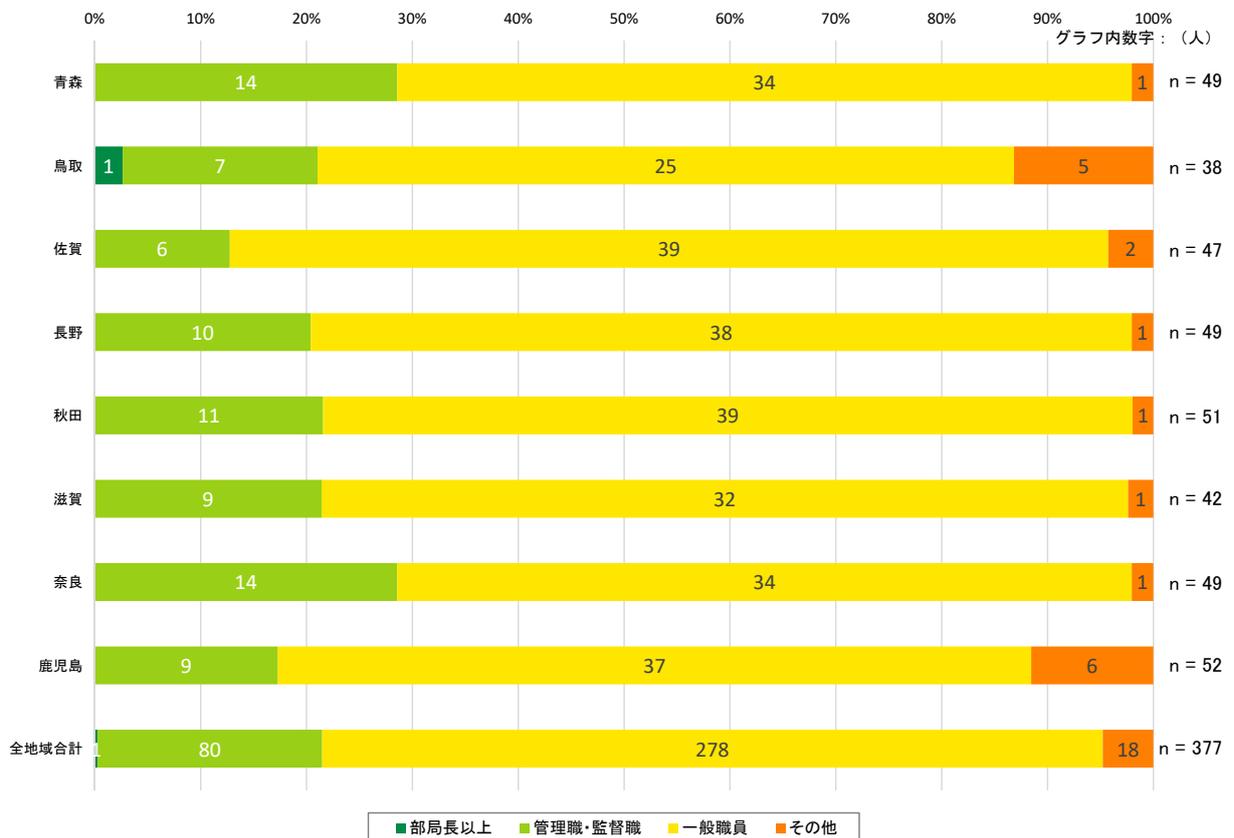
②-2 職種



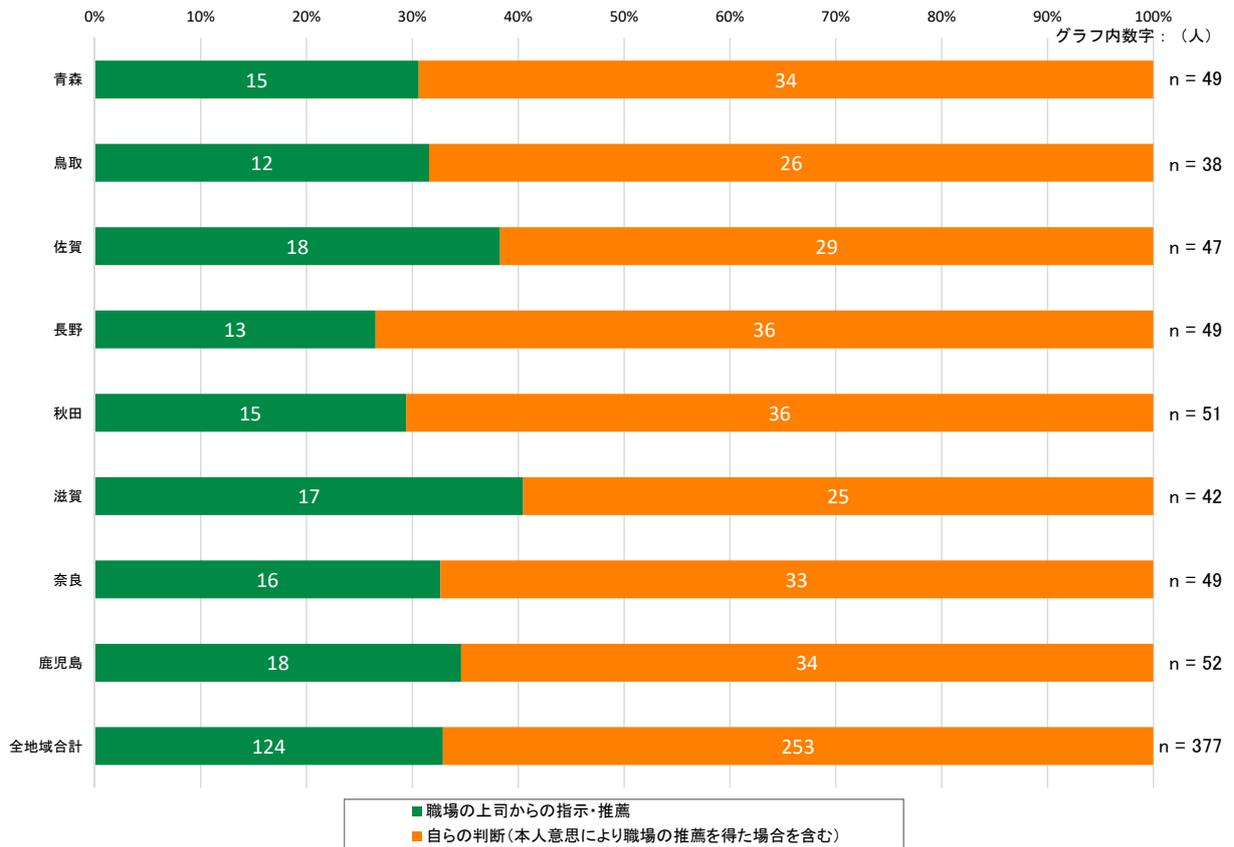
②-3 現在の担当業務



②-4 役職

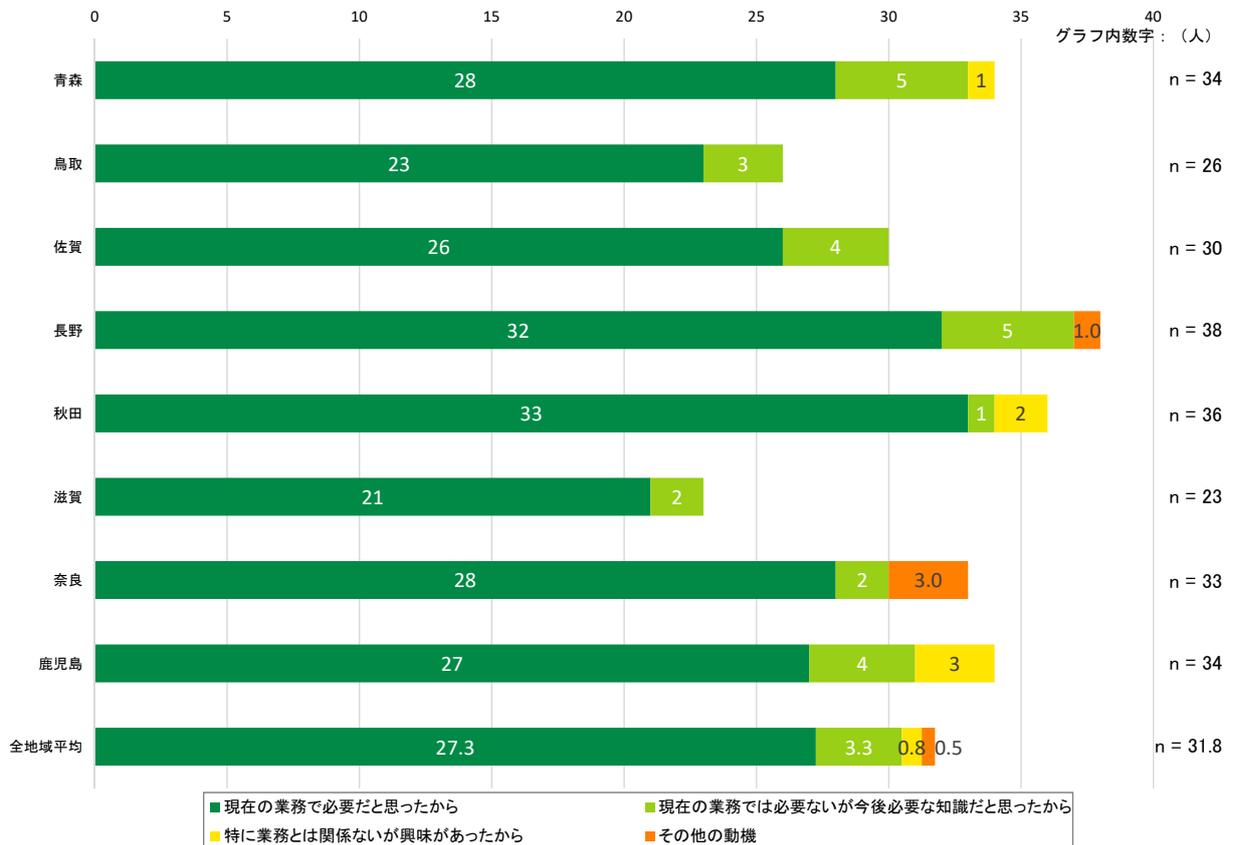


②-5 受講のきっかけ

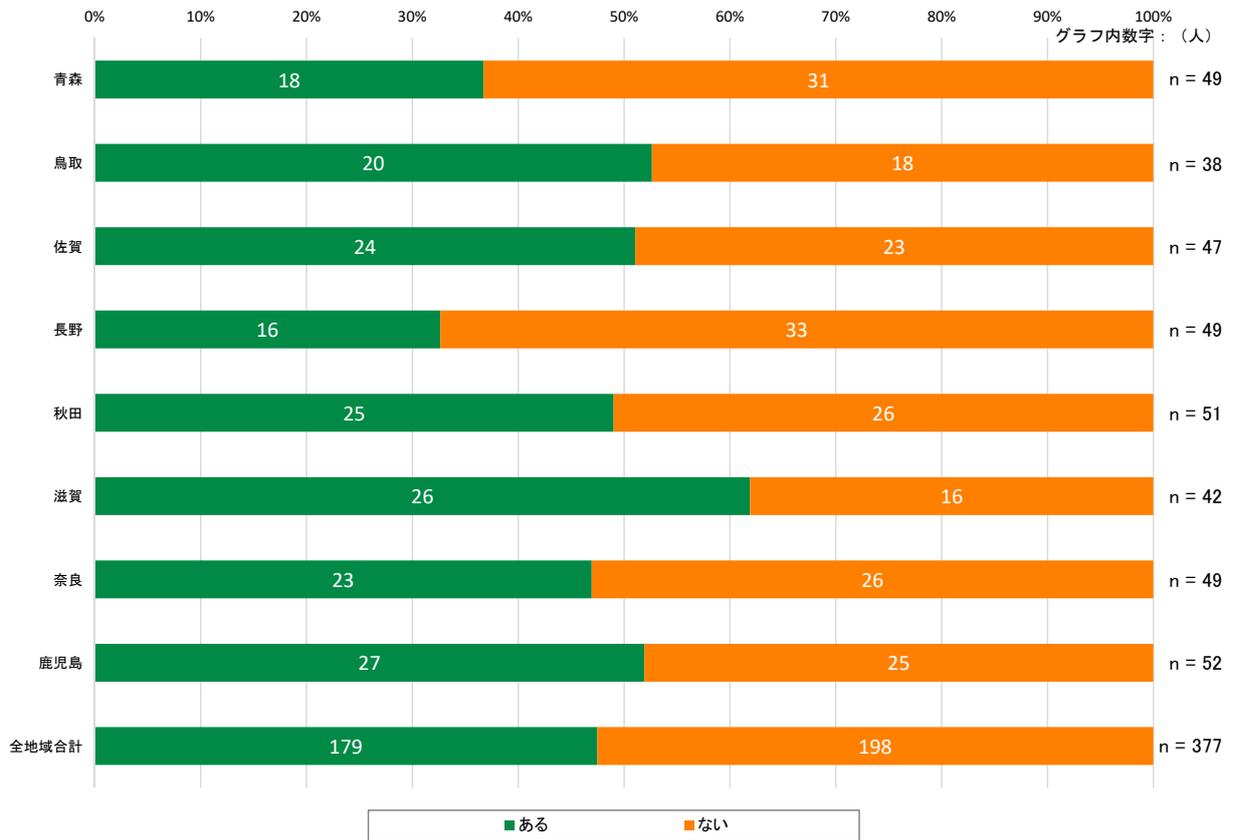


②-6 受講したいと思った動機

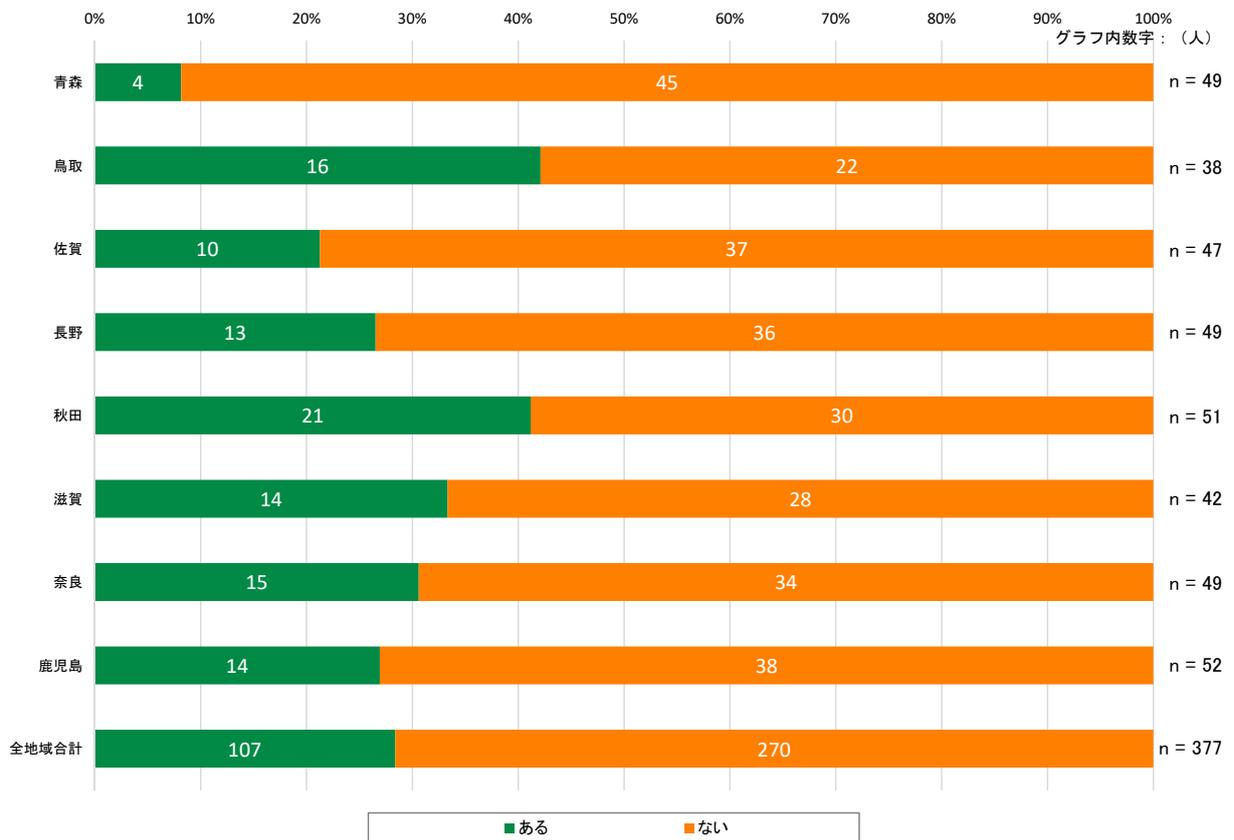
受講のきっかけで「自らの判断」を選んだ人のみ回答(複数回答可)



②-7 災害対応業務経験の有無



②-8 災害対応応援経験の有無



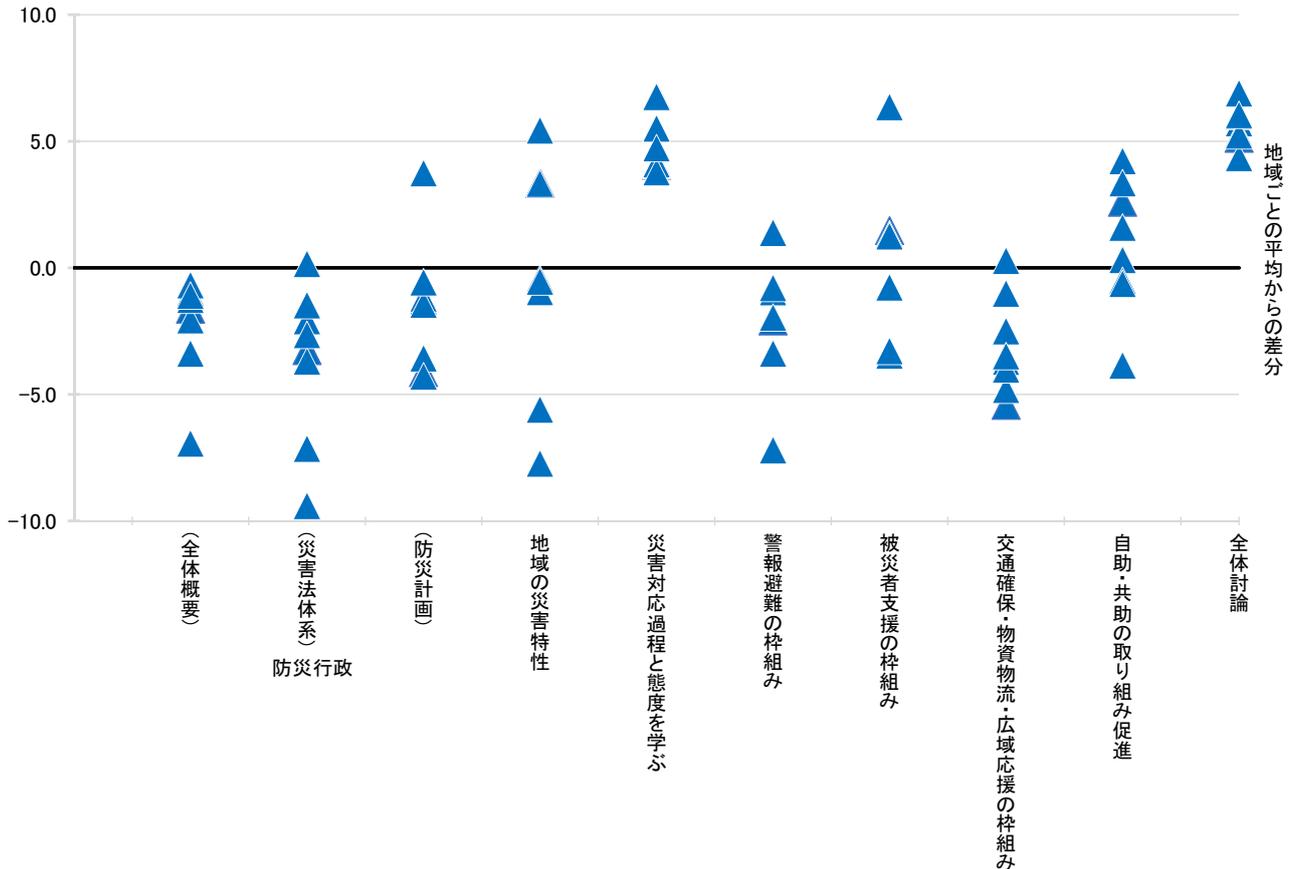
③ 受講者単元別アンケート

③-1 単元ごとの講座内容の満足度

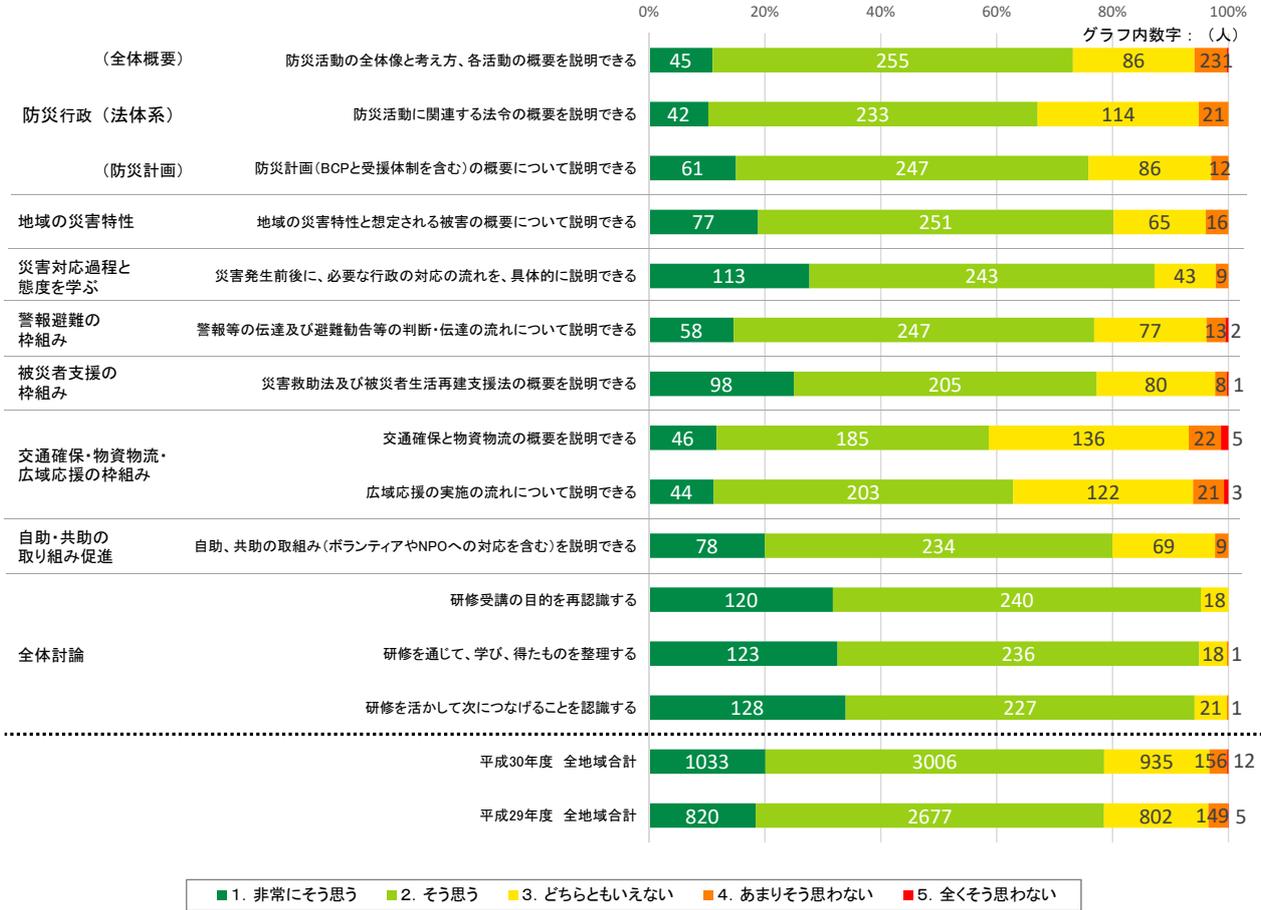
(点)

単元名		青森	鳥取	佐賀	長野	秋田	滋賀	奈良	鹿児島	平均	H29 平均
防災行政	全体概要	82.8	79.2	82.4	81.0	75.1	80.5	79.6	79.5	80.0	75.4
	災害法体系	81.2	76.5	75.9	83.2	72.6	79.6	79.3	80.3	78.6	76.2
	防災計画	80.3	78.9	81.9	81.6	85.8	78.1	76.5	82.3	80.7	79.3
地域の災害特性		87.8	79.8	77.5	88.5	85.4	74.0	79.8	82.4	81.9	83.5
災害対応過程と態度を学ぶ		88.5	85.7	89.9	87.1	86.1	85.5	87.5	87.6	87.2	87.5
警報避難の枠組み		82.4	78.3	82.1	75.9	83.4	78.3	78.8	82.1	80.2	79.4
被災者支援の枠組み		85.9	79.4	89.4	79.6	78.7	92.3	82.1	84.2	84.0	87.4
交通確保・物資物流・広域応援の枠組み		79.0	76.5	78.3	82.0	79.5	77.7	81.0	79.4	79.2	80.7
自助・共助の取り組み促進		87.0	81.8	83.4	82.5	86.3	85.1	76.9	82.3	83.2	79.0
全体討論		89.6	85.9	90.0	89.1	87.3	86.1	86.0	89.0	87.9	86.2
地域ごとの平均		84.5	80.2	83.1	83.0	82.0	81.7	80.7	82.9	82.3	81.5

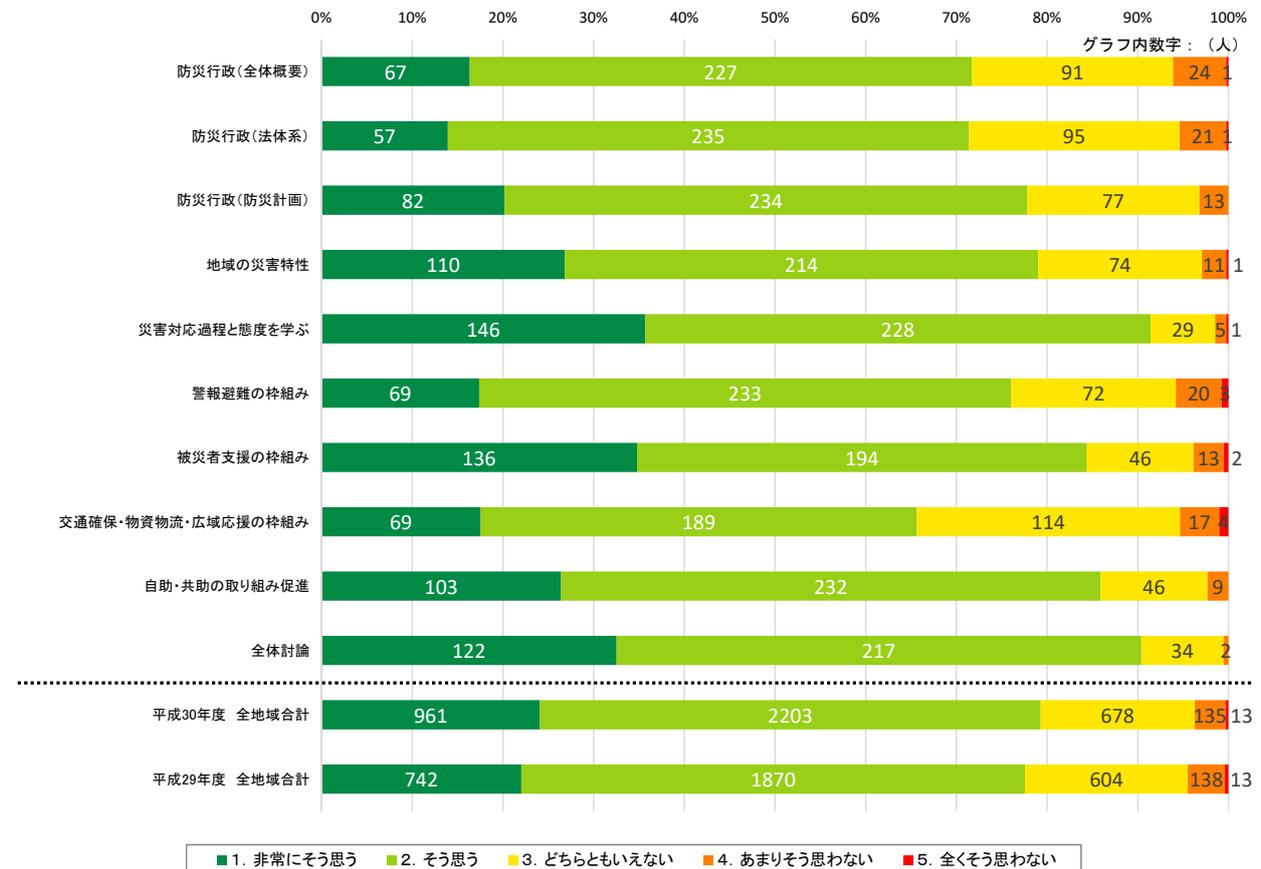
③-1 (参考) 各地域の単元ごとの講座内容の満足度の差分



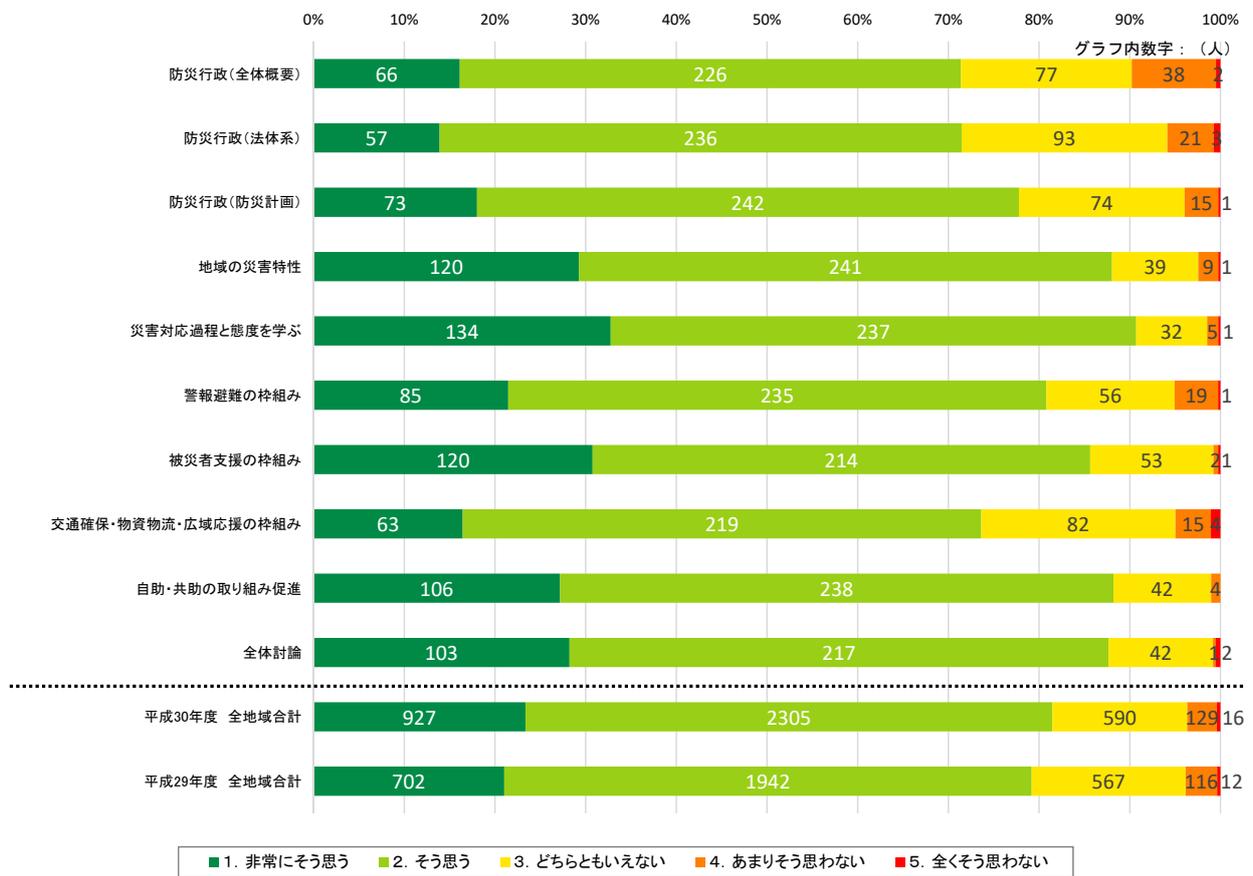
③-2 学習目標が理解できた



③-3 講義・演習の方法や進め方（話し方・態度・時間配分・作業・班割等）は、理解しやすかったか

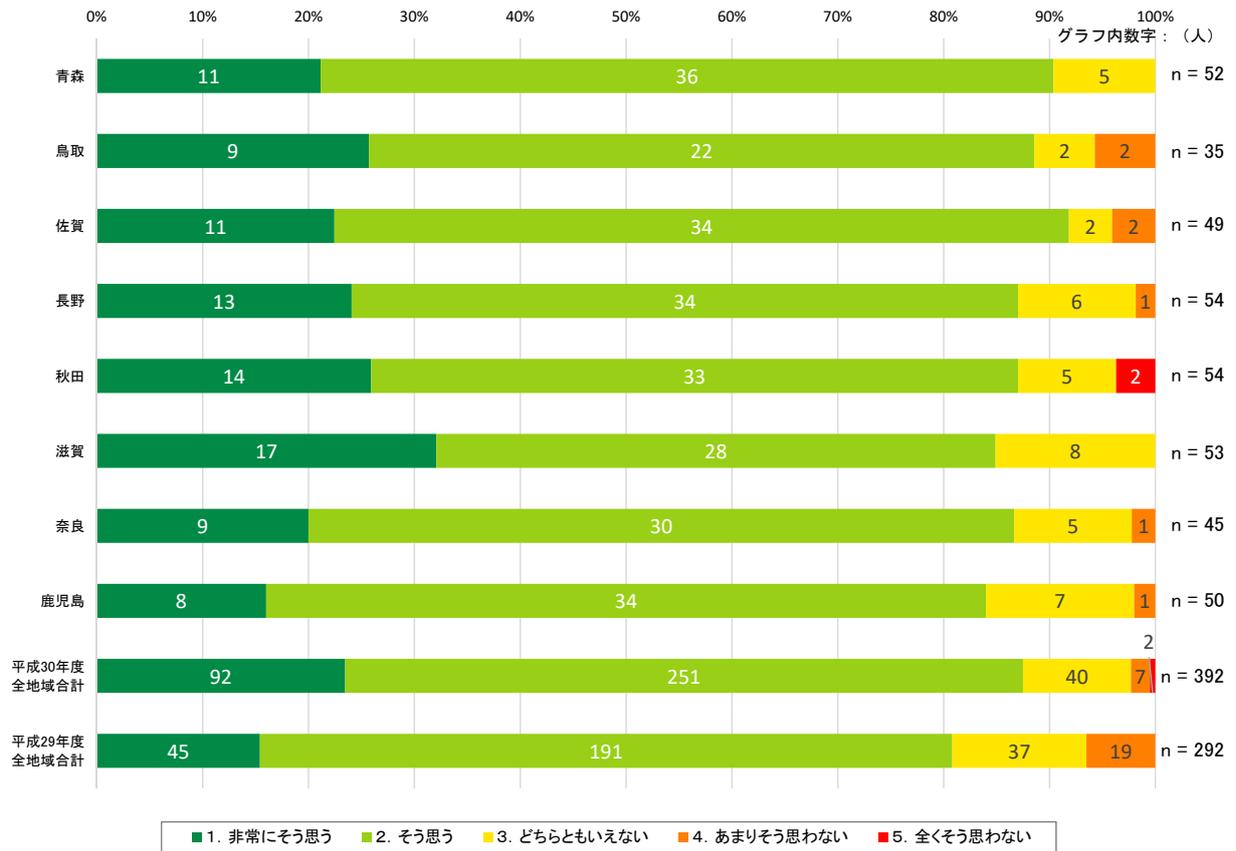


③-4 テキストの視認性（見やすさ、分かりやすさ）や分量は適切か

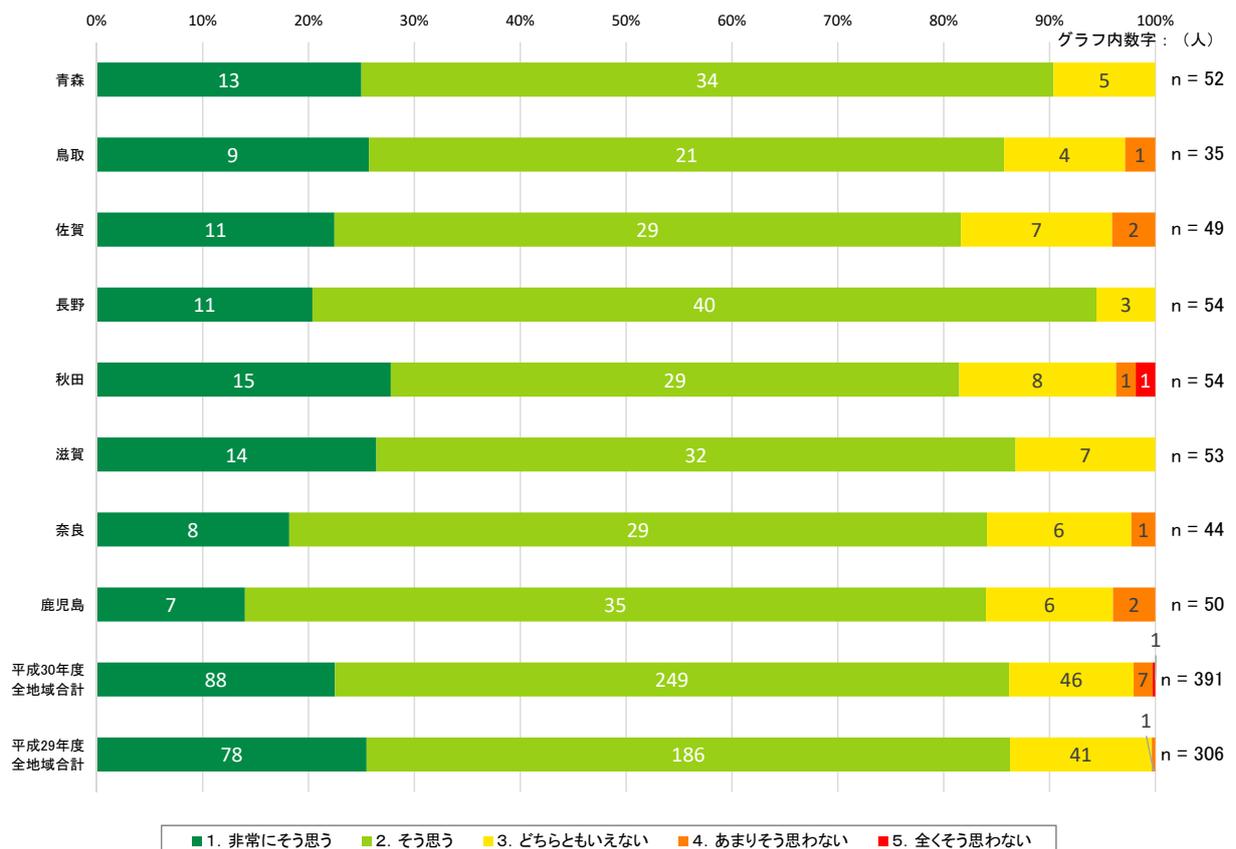


④ 受講者最終日アンケート

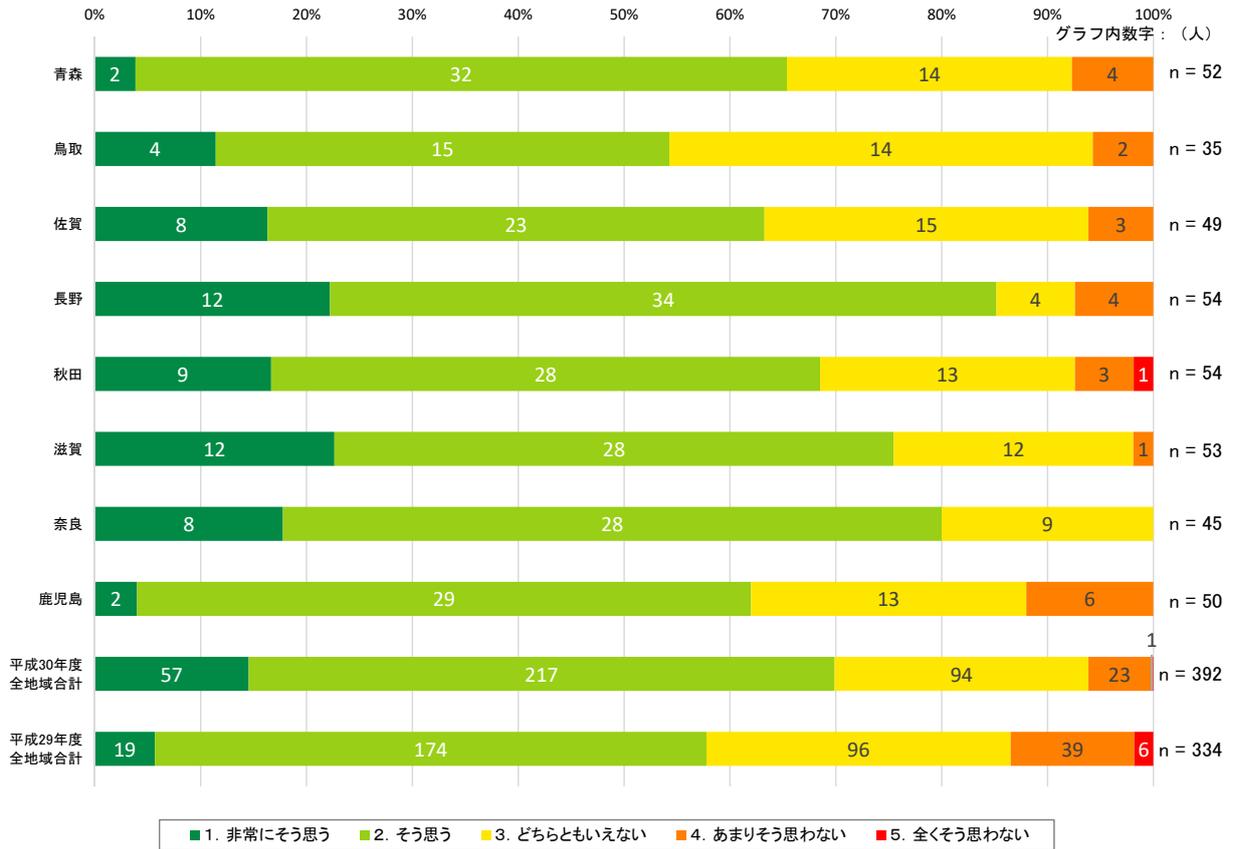
④-1 本研修は、期待したとおりの内容でしたか？



④-2 カリキュラムは適切でしたか？



④-3 人的ネットワークを作ることができましたか？



④-4 ご意見等の自由記述 意見整理

□ : 意見数が4以上

分類	意見	意見数
講義の内容	所属機関や役職に応じた研修を実施してほしい	2
	講師の話し方・伝え方にばらつきがあった	1
	内容に重複する部分があった	1
	初心者用とは思っていなかった	1
	研修名とカリキュラムが一致していない	1
研修期間・時間配分	講義の時間が短く、時間が足りない	30
	演習の時間を増やしてほしい	6
	終了時間を早くしてほしい	2
講義資料	講義資料にみにくい部分があった ○文字が小さい ○同色系が見えない ○資料の綴じ方	2
	ビデオ等を利用して災害の映像を流してほしい	1
講義に追加してほしい内容	講義に追加してほしい内容がある ○過去災害における実際の対応事例 ○地方自治体の取り組み事例 ○り災証明交付 ○二次調査の建築士確保 ○避難所運営 ○地域に特化した内容	11
参加者の交流	演習に交流の時間がほしい	5
	交流会／名刺交換の時間・場を設けてほしい	11
実施地域・回数	実施地域・回数を増やしてほしい	5
実施時期	実施時期を早めてほしい	3
会場	会場の温度が快適ではなかった	8
	スクリーンが見えにくかった	2

⑤ 確認テスト

⑤-1 問題ごとの正解率

正解率70%未満

単元名		問題	青森	鳥取	佐賀	長野	秋田	滋賀	奈良	鹿児島	全地域平均
防災行政	全体概要	Q1 災害対策の流れは、平時における「災害への備え」、警報や避難などの災害が想定される直前の対応、発災後の「応急活動(被災者への支援を含む)」、「復旧・復興」のサイクルであり、各段階に応じた対策を適切に実施するとともに、サイクルを回しながら検証改善していくことが重要である。(○)	94.2%	94.6%	100.0%	96.3%	96.3%	96.3%	97.7%	100.0%	96.9%
	災害法体系	Q2 激甚災害制度は、地方財政の負担緩和や被災者に対する特別の助成を行うために全国的規模の激甚な災害に限って対象とすることが「激甚災害に対処するための特別の財政援助に関する法律」に定められている。(×)	76.9%	73.0%	76.0%	75.9%	63.0%	51.9%	56.8%	68.8%	67.8%
	防災計画	Q3 防災基本計画は、中央防災会議が作成する計画で、指定行政機関(中央省庁)が作成する防災業務計画や都道府県・市町村防災会議が作成する地域防災計画、指定公共機関が作成する地区防災計画の基本となっている。(×)	48.1%	59.5%	38.0%	59.3%	47.2%	59.3%	63.6%	45.8%	52.6%
地域の災害特性	Q4 災害は台風や豪雨などの天変と地震や火山噴火などの地異といったハザードの誘因のみで発生する。(×)	100.0%	94.6%	98.0%	98.1%	94.4%	96.3%	97.7%	97.9%	97.1%	
警報避難の枠組み	Q5 災害発生が夜間、早朝になることが予想される場合、むやみに避難勧告等を発令することは住民に多大な負担を強いることに繋がりがかねないため、避難勧告等の発令は災害発生直前まで慎重に検討する必要がある。(×)	100.0%	94.6%	100.0%	96.3%	88.9%	96.3%	95.5%	95.8%	95.9%	
	Q6 災害が発生し、又はまさに発生しようとしている場合において、避難のための立退きを行うことによりかえって人の生命又は身体に危険が及ぶおそれがあるときは、市町村長は、必要と認める地域の居住者等に対し、屋内での待避その他の屋内における避難のための安全確保に関する措置を指示することができる。(○)	92.3%	83.8%	84.0%	87.0%	83.3%	83.3%	81.8%	91.7%	85.9%	
被災者支援の枠組み	Q7 災害救助法の適用は、内閣総理大臣が決定する。(×)	57.7%	51.4%	88.0%	51.9%	42.6%	98.1%	54.5%	83.3%	65.9%	
	Q8 災害救助法が適用された場合において、都道府県知事は救助を迅速に行う必要があると認めるときは、市町村長に救助の実施に関する事務の一部を委任することができる。(○)	90.4%	97.3%	94.0%	87.0%	96.3%	100.0%	84.1%	100.0%	93.6%	
交通確保・物資物流・広域応援の枠組み	Q9 体育館等の公的施設を第一次物資拠点とする場合、実務的な必須3要件は、以下である。 1) 荷卸/積込 スペースの確保 2) 物資ピッキング作業スペースの確保 3) 大型トラックの出入に耐える路面環境の確保 (○)	69.2%	70.3%	76.0%	75.9%	69.8%	66.7%	68.2%	62.5%	69.8%	
自助・共助の取り組み促進	Q10 ボトムアップ型による地域の防災力を高めるため、平成25年度の災害対策基本法改正において、地域の特性を踏まえコミュニティレベルの防災活動を内容とする「地区防災計画」を市区町村の地域防災計画に定めることができる地区防災計画制度が制定された。(○)	94.2%	91.9%	90.0%	90.7%	96.3%	94.4%	88.6%	91.7%	92.2%	

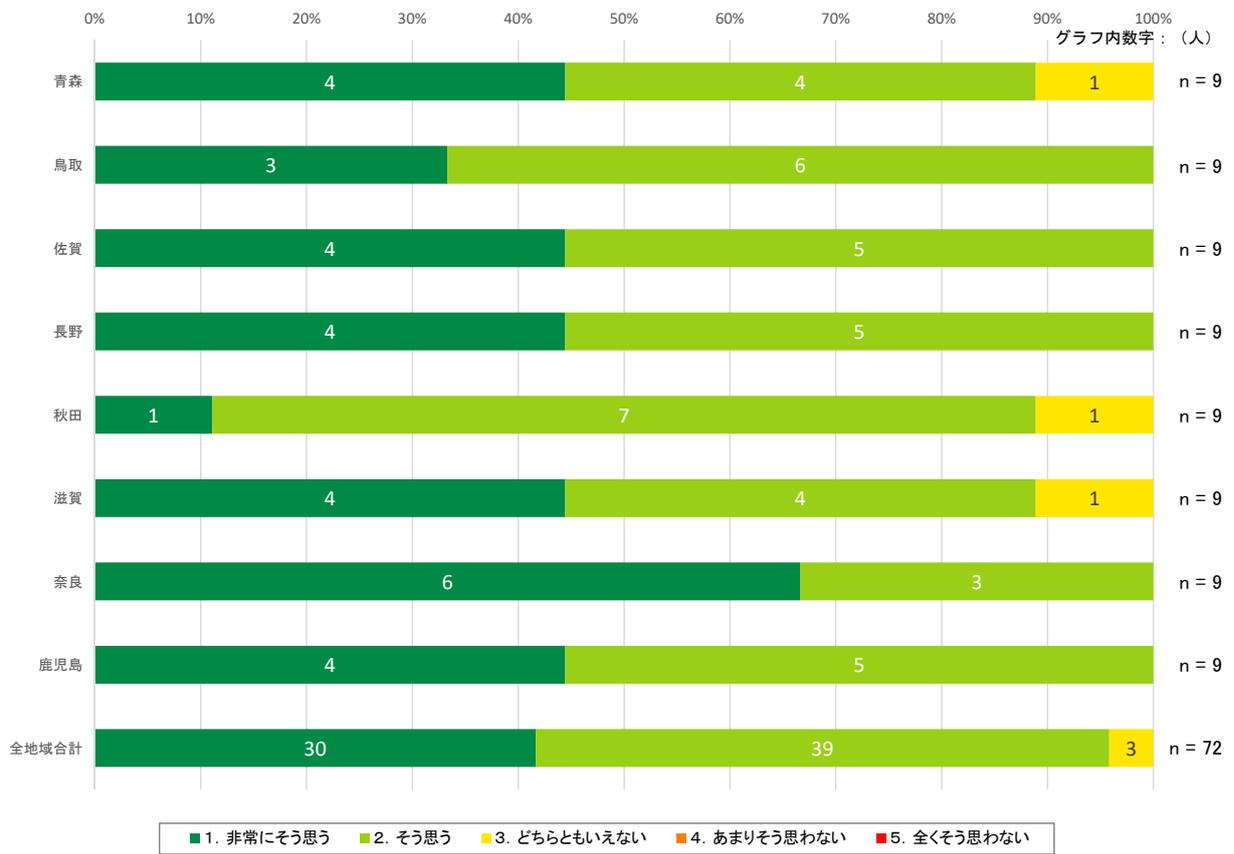
⑤-1 (参考) 平成29年度地域別研修の正答率比較

正解率70%未満

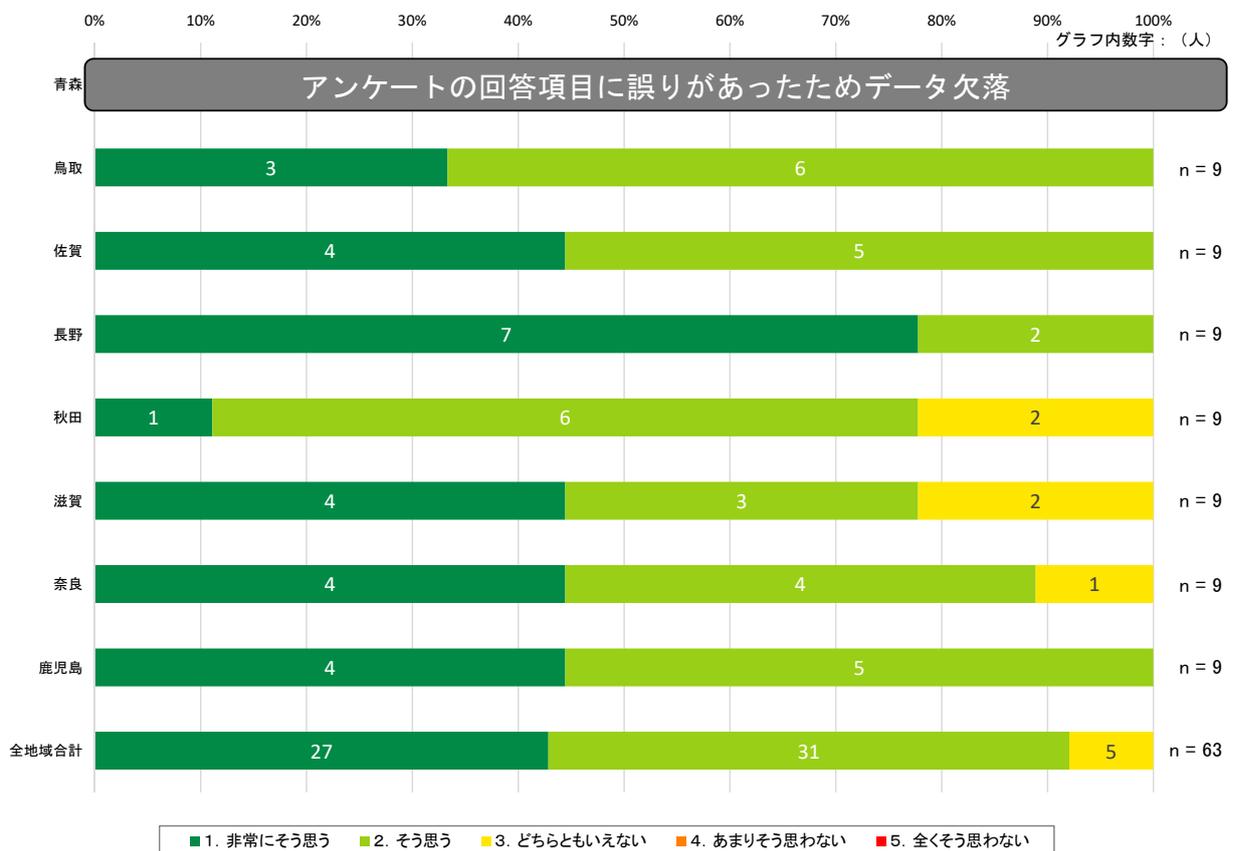
単元名		問題	H30 全地域 平均	H29 全地域 平均	備考
防災行政	全体概要	Q1 災害対策の流れは、平時における「災害への備え」、警報や避難などの災害が想定される直前の対応、発災後の「応急活動(被災者への支援を含む)」、「復旧・復興」のサイクルであり、各段階に応じた対策を適切に実施するとともに、サイクルを回しながら検証改善していくことが重要である。(○)	96.9%	95.6%	
	災害法体系	Q2 激甚災害制度は、地方財政の負担緩和や被災者に対する特別の助成を行うために全国的規模の激甚な災害に限って対象とすることが「激甚災害に対処するための特別の財政援助に関する法律」に定められている。(×)	67.8%	75.6%	
	防災計画	Q3 防災基本計画は、中央防災会議が作成する計画で、指定行政機関(中央省庁)が作成する防災業務計画や都道府県・市町村防災会議が作成する地域防災計画、指定公共機関が作成する地区防災計画の基本となっている。(×)	52.6%	40.0%	
地域の災害特性	Q4 災害は台風や豪雨などの天変と地震や火山噴火などの地異といったハザードの誘因のみで発生する。(×)	97.1%	97.7%		
警報避難の枠組み	Q5 災害発生が夜間、早朝になることが予想される場合、むやみに避難勧告等を発令することは住民に多大な負担を強いることに繋がりがかねないため、避難勧告等の発令は災害発生直前まで慎重に検討する必要がある。(×)	95.9%	98.6%		
	Q6 災害が発生し、又はまさに発生しようとしている場合において、避難のための立退きを行うことによりかえって人の生命又は身体に危険が及ぶおそれがあるときは、市町村長は、必要と認める地域の居住者等に対し、屋内での待避その他の屋内における避難のための安全確保に関する措置を指示することができる。(○)	85.9%	-		
被災者支援の枠組み	Q7 災害救助法の適用は、内閣総理大臣が決定する。(×)	65.9%	-	H30から新たに作成し変更したもの	
	Q8 災害救助法が適用された場合において、都道府県知事は救助を迅速に行う必要があると認めるときは、市町村長に救助の実施に関する事務の一部を委任することができる。(○)	93.6%	-		
交通確保・物資物流・広域応援の枠組み	Q9 体育館等の公的施設を第一次物資拠点とする場合、実務的な必須3要件は、以下である。 1) 荷卸/積込 スペースの確保 2) 物資ピッキング作業スペースの確保 3) 大型トラックの出入に耐える路面環境の確保 (○)	69.8%	88.6%		
自助・共助の取り組み促進	Q10 ボトムアップ型による地域の防災力を高めるため、平成25年度の災害対策基本法改正において、地域の特性を踏まえコミュニティレベルの防災活動を内容とする「地区防災計画」を市区町村の地域防災計画に定めることができる地区防災計画制度が制定された。(○)	92.2%	95.2%		

⑥ 講師アンケート

⑥-1 受講者の態度はよかったですか？



⑥-2 講義や演習はやりやすかったですか？



ご意見等の自由記述

【青森県】

ご意見

時間が短い。法体系・計画が余り気味なので、全体概要を10分長くして良いかも知れません。

登壇してみたら暑かった。

講義中、非常に暑かったです。

Q2の設問に対し、選択肢の意味がわかりづらいです。

なじみのない科目であり、戸惑った内容と感じました。その割には熱心に聞いていただきました。

青森県の災害について勉強していなかったため、反省したいと思います。

【鳥取県】

ご意見

講義が拙かったこともあり、また内容が難しかったこともあり、なかなか分かりづらい講義になってしまった。能動的に話を聞いてもらえる講義にしないといけないと思い、次の機会には事例を基にした講義にしないといけないかと思っています。

県外の方がおられ、驚きました。

発表が初めてで言いたいことはすべて言えなかったので練習します。演題に飲み物をおいていただけると助かります。

本来であれば参加者の皆様にとって、とても興味のある単元だと思われるが、「担当者でない」とことわったせいか、質問が一つもなく申し訳なかった。今回、発表原稿(カンペ)を持って発表に臨んだが、マイクが手持ちタイプであったため、ポインターとマイクと原稿で両手が一杯となってしまった。ピンマイクだとありがたかった。

暑い会場でした。にもかかわらず、受講者のみなさん立派です。

ご意見等の自由記述

【佐賀県】

ご意見

遠慮なく質問いただけると今後の参考になります。受講者の皆様は控えめなので、あらかじめ普段の業務から課題となっていること、興味があること等について、質問カードを作成してもらって、司会者の方が代表して質問されるのも一案かと思っています。

今回は職員の参加が少ないでしょうか。

スクリーンをポインターで指すのが、角度の問題か、難しかった。

10分早く終わりました、すみません。

受講者が興味・関心のある事柄を理解したうえで、講師として伝えたい内容を講義すべきであったが、双方とも準備不足であった。今後は、まず講師として最低限伝えるべき内容を簡潔にまとめたうえで、受講者の立場に立った具体的事例を挙げながらの講義の構成を考えたい。

時間不足で申し訳ない。教材をよく読んでいただきたいと思います。

講義を通じて自分も勉強になりました。ありがとうございました。

【長野県】

ご意見

地域の災害特性というテーマでしたが、防災気象情報の話もさせていただきまして、ありがとうございました。

素晴らしい施設・設備で大変やりやすかったです。

時間切れになってしまい、申し訳なかったです。

質問は後日Eメールでお待ちしております。

Q1.受講者の態度はよかったですか？⇒疲れている感のあった方もいました。

コンパクトな会場、人数でやりやすかったです。

ご意見等の自由記述

【秋田県】

ご意見
講師と受講者との物理的な距離がありすぎる！特に壇上からの説明は受講者との関係からはあまり良くない環境だと思われるので一考願いたい。
質問時間を10分程度用意しましたが、1つしか質問がなく残念でした。内容が良く分かったということなのか、難しく質問のしようがないということなのか、気になることです。
経験者が半数近く出席されていたので質問して欲しかった。
会場からの質問が欲しかったです。地区防災計画に定めるメリットについて、策定者として、考えていきたい。

【滋賀県】

ご意見
準備ありがとうございました。今後も研修の質の向上にご協力ください。
講師が講義において利用する機が、もう少し広いと資料を広げるスペースができ、助かると思います。
順調に進めることができました。活発な検討になり、良かったと思います。ありがとうございました。
どのパワーポイントを説明しているのかわからなかったところで、早急に対応して下さい、ありがとうございました。
準備等、お疲れ様でした。
時間が足らずに最終頁まで説明できずすみません。有意義な質問に救われました。
時間的に午後のひろう感の濃い時間でしたが、皆さんしっかり聞いていただけてありがたかったです。事前にオーディエンスの名簿が分かっていたら、もう少し受講者の方に合わせたテラー・メイドの工夫ができるかと思いました。

ご意見等の自由記述

【奈良県】

ご意見
パソコンの処理能力が低く、操作に困難を感じる時があった。
質疑応答の時間を10分とったが、質問がなかったのは少し残念でした。
Q1は最前列でスマホを操作していた方もいましたが、、、会場の広さ的に程良い感じでした。
時間が不足して申し訳ないです。教材をよく読んで貰って下さい。

【鹿児島県】

ご意見
少し会場が広いと感じました。
私の講義構成にも工夫が足りなかったこともあると思いますが、最後の質問などもっと出やすい雰囲気作りにすれば良いと思いました。
いつものように円滑に進めることができました。ありがとうございました。
講義で伝えるべき項目をしぼって、法の趣旨を説明すべきであったが、講師の力量不足で、受講者を混乱させる結果となってしまった。受講者が災害救助法適用下でいかに対応を行っていくか、イメージがもてるよう、今後の説明方法を再度検討したい。受講者の方には、本当に申し訳ないと思っています。
県と市町の連携の甘さが課題と思います(質問から)。今後の研修等にお役立て下さい。
会場が広く、講義しやすかった。